



無事故ドライバーをめざして（２）高速道路の走行

先月に引き続き、無事故ドライバーになるためのいろいろな知識をクイズ形式で確認していきましょう。今回は「高速道路の走行」です。

高速道路の走行

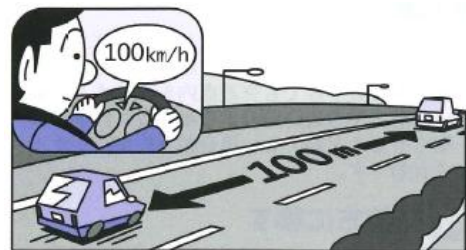
高速道路の走行に関する次の設問について、正しいものには○、間違っているものには×をつけてください。

- 問1 路面が乾いた高速道路を走行する場合、速度（時速）の数字からk mをとった数字を距離（メートル）に置きかえた長さ以上の車間距離をとるのが安全だといわれている。
- 問2 高速道路では、3時間に1回休憩をとるのがよいといわれている。
- 問3 高速道路のカーブの手前にある「R 4 0 0」や「R 2 0 0」という標識は数字が小さいほどカーブがゆるやかであることを示している。
- 問4 高速道路を走行するときは、タイヤの空気圧を低めにしたほうがよい。
- 問5 サービスエリアは原則として、約15キロメートルごとに設置されている。

1. 高速道路では「スピードメーターの数字」以上「車間距離」

正解 ○

高速道路では、追突事故を防止するために車間距離を十分にとる必要があります。乾燥路面の場合には速度（時速）の数字部分を距離（メートル）に置きかえた長さ以上（時速80kmであれば80メートル以上、時速100kmであれば100メートル以上）の車間距離をとるのが安全な車間距離の目安となります。なお、路面が濡れているとそれ以上の車間距離が必要です。



2. 休憩は疲れが出てからでは遅い

正解 ×

運転中は絶えず周囲に目を配り、状況に応じた的確な判断や操作が必要とされます。そのため、常に注意力と緊張感が要求され、精神的な疲労が生じやすいといえます。しかし、特に高速道路では、先を急ぐ余り長時間連続して運転するケースが多く、それが精神的疲労の蓄積を招き、注意力の低下、場合によっては居眠りの要因となります。したがって、疲労運転を防止するためには少なくとも1時間30分から2時間に1回休憩をすることが大切です。

3. 数字が小さいほど急カーブ

正解	×
----	---

高速道路のカーブの手前に設置してある「R400」や「R200」という標識は、そのカーブの半径を示しています。したがって、数字が小さいほどカーブが急なことをあらわしています。半径の小さいカーブほど、特に注意して手前で減速し、安全な走行を心掛けましょう。

4. 空気圧を高めにする

正解	×
----	---

空気圧不足で高速走行すると、タイヤの接地面後方が波状に変形する「スタンディングウェーブ現象」が起こり、タイヤが急速に過熱されバースト（破裂）などを起こす危険性があります。したがって、高速道路を走行するときは、タイヤの空気圧を高めにし、こまめにチェックすることが大切です。

5. サービスエリアは約50キロメートルごと

正解	×
----	---

サービスエリアは、原則として約50キロメートルごとに設置されており、通常は食堂、売店、給油所、休憩所、案内所、トイレなどの施設があります。また、パーキングエリアは、約15キロメートルごとに設置されており、売店やトイレなどの施設があります。適当な休憩をおり込んだゆとりのある運転計画を立てましょう。

今回は「無事故ドライバーをめざして（3）緊急時の措置」について、今回同様クイズ形式で確認していきます。

(2010年12月作成)